



小郡市立小郡中学校 令和7年10月10日

小郡中学校だより 第247号

校長 山本 拓



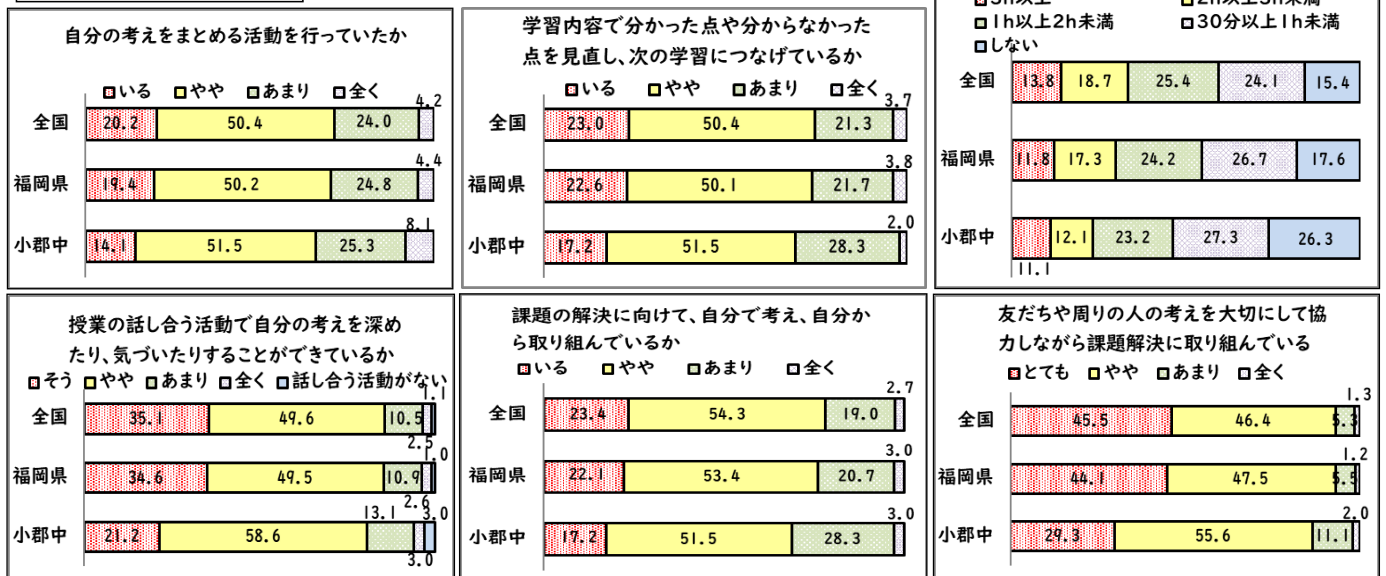
学校教育目標 ～自ら学び 共に高め合う 心豊かでたくましい生徒の育成～

全国学力・学習状況調査について②【生徒質問紙より】

4月17日(木)に全国の中学3年生対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の生徒質問紙結果の一部をお伝えします。生徒質問紙は、3年生の学習習慣や生活習慣などについて調査したものです。全国学力・学習状況調査は、3年生を対象に行われますが、学校全体の課題としてとらえて、本校をはじめ、全国の各学校は、課題解決に向けて1年間取り組んでいます。

今回は、子どもたちの質問結果のいくつか抜粋したものをお知らせします。

学習に関すること



学習に関する質問の中で「自分の考えをまとめる活動をおこなっていたか」や「学習内容で分からなかった点を見直し、次の学習につなげているか」では、全国や福岡県を少し下回る結果となりました。

また、「平日に1日何時間家庭で勉強をするか」については、30分以下や全くしないと答えた生徒が、26.3%もあり、全国より10.9%、福岡県より8.7%も多い結果となっており、明らかに勉強不足といえるでしょう。本校の3年生の学習時間の目標は3時間としています。今年4月の結果ですので、現在の勉強時間は、当然大幅に増えていると思いますが、3年生だけでなく、1、2年生も進路獲得に向けて毎日計画的に家庭でも確実に机に向かう習慣を身につけてほしいです。

「授業の話し合う活動で自分の考えを深めたり、新しいことに気づいたりすることができているか」や「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるか」、「友だちや周りの人の考えを大切にして協力しながら課題解決に向けて取り組んでいるか」という授業や学校生活において協働する力を問う質問に対しても、残念ながら全国や福岡県を下回っている状況です。

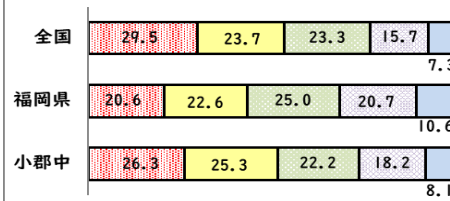
中学生になると、自分で試験日までの見通しを持って計画的に取り組める主体性が必要です。試験前後に提出物への書き込みを必死でしているようでは、学力はつきません。問題集などは試験日までに計画的に各自で行い、提出日までに終わっていることが当たり前なのです。今までできていなかった人は今日からでも毎日机に向かい、地道に努力を重ねていきましょう。また、みなさんに配布されているタブレットの中に自主的に学習できる個別学習に最適なアプリも入っていますので、是非活用してください。

ICT 活用について

「タブレットなどの ICT 機器をどの程度使用したか」の質問では、「ほぼ毎日」「週3回以上」と答えた生徒が福岡県を上回り、昨年の結果よりも向上しました。授業でのタブレット活用が増えてきたことで、自分の意見を全体に伝えたり、様々な資料や結果を整理したりすることが容易になり、自分の考えをアウトプットすることが大幅に増えてきたと感じています。これからも効果的な活用を学校全体で目指していきたいと考えています。

PC・タブレットのICT機器をどの程度使用したか(1,2年で受けた授業)

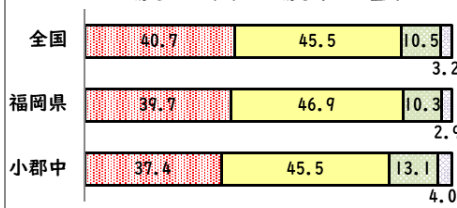
□ほぼ毎日 □週3回以上 □週1回以上
□月1回以上 □月1回未満



非認知能力について

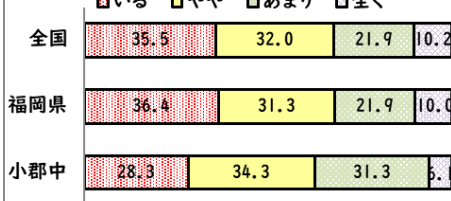
自分には、よいところがあると思うか

□ある □やや □あまり □全く



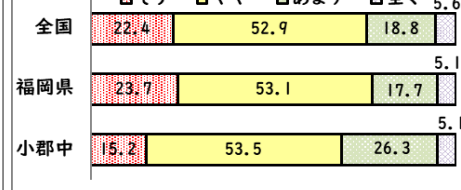
将来の夢や目標を持っているか

□いる □やや □あまり □全く



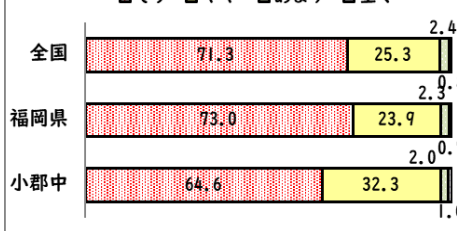
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか

□そう □やや □あまり □全く



人の役に立つ人間になりたいか

□そう □やや □あまり □全く



非認知能力に関する質問の結果です。非認知能力は、学力テストでは、数値化できない内面的なスキルや特性を示したものです。非認知能力は、将来や人生を豊かにするために非常に重要であり、近年教育分野では、注目されており、生涯にわたって向上させることが大切であると言われて

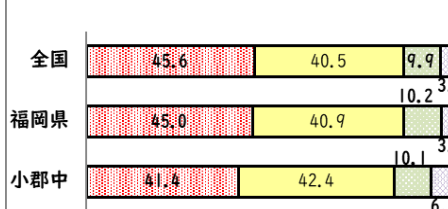
います。自己有用感に関する質問でもある「自分には、よいところがあると思うか」の問いについては、〈ある〉〈やや〉と答えた生徒が全国、福岡県と比べ

てやや少ないものの、全体の80%を超えていました。しかし、「将来の夢や希望を持っているか」や「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか」、「人の役に立つ人間になりたいか」という質問で〈持っている〉〈そう思う〉と答えた生徒が、全国や福岡県と比べて 8%以上低くなっているところが気になります。積極的に地域の行事に参加していくことや社会状況を知り、自分との関係性を考えることで将来像が描きやすくなります。日ごろから地域とのつながりを大切にしたり、社会の情勢にも目を向けたりしたいものです。

学校生活に関することについて

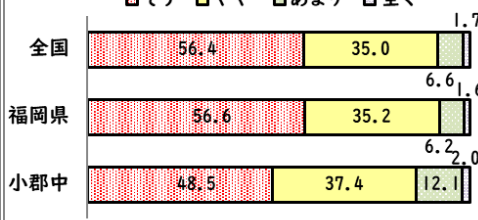
学校に行くのは楽しいと思うか

□そう □やや □あまり □全く



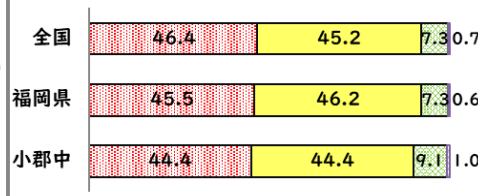
友だち関係に満足しているか

□そう □やや □あまり □全く



普段の生活で幸せな気持ちになることはあるか

□よく □ときどき □あまり □全く



「学校に行くのは楽しいと思うか」や「友だち関係に満足しているか」、「普段の生活で幸せな気持ちになることはあるか」の質問で、どれも〈あまり〉〈全く〉と答えた生徒が 10%を超えているのが気になります。「仲間づくり」や「仲間とのつながり」を合言葉にしている小郡中にとっては、大きな課題であると感じています。私たち教職員は、これからも生徒の自己有用感を高められるよう、ひとり一人の自己実現が図られるように支援をしていきたいと考えています。